

事務連絡  
令和7年9月17日

各保健所設置市保健所長様

兵庫県保健医療部疾病対策課  
感染症対策官

**エムポックス患者(クレードI b)の発生について（情報提供）**

9月16日、神戸市保健所管内で発生があった標記については、国内で初めて、クレードI b型が確認された事例であることから、別紙のとおり記者発表（資料配付）を行いましたのでお知らせします。

つきましては、県民等から疑い例に係る相談があった場合、受診調整等の対応をお願いします。

なお、別添写しのとおり、関係団体あて通知していることを申し添えます。

担当  
兵庫県保健医療部疾病対策課  
感染症対策推進班 藤井  
TEL : 078-341-7711 (内線 73931)  
FAX : 078-362-3933  
E-mail : shippeitaisaku@pref.hyogo.lg.jp

作成年月日	令和7年9月16日
作成部局	保健医療部
担当部署	疾病対策課感染症対策推進班 (直通 078-362-3213)

## エムポックス（クレードI b）の患者の発生について

### 【概要】

神戸市保健所管内において、エムポックスの患者の届出がありました。（別添参照）

検査の結果、エムポックス（ウイルス型：クレードI b）と判明し、国内で初めて報告されたウイルス型になります。

※エムポックスの発生状況（累計） 全国254件（2025年9月12日現在）

### 1 患者の概要

- (1) 年代・性別 20歳代、女性
- (2) 医療機関受診日 令和7年9月12日
- (3) 症 状 発熱、咽頭痛、水疱、リンパ節腫脹
- (4) 海外渡航歴 あり（アフリカ）
- (5) 患者の状況 状態は安定している。

※報道機関各位におかれましては、ご本人やご家族などが特定されないよう、個人情報保護にご配慮下さい。

### 2 県の対応

- (1) 県民への情報提供と注意喚起
  - ① 県医師会等関係機関へ情報の提供及び疑い患者の情報提供を依頼
  - ② 県ホームページによる注意喚起
    - ・兵庫県ホームページ「エムポックスについて」  
<https://web.pref.hyogo.lg.jp/kf16/monkypox.html>
    - ・厚生労働省ホームページ「エムポックスについて」  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekakkoushoushoku/monkeypox\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekakkoushoushoku/monkeypox_00001.html)
- (2) 疑い患者に対する検査の実施

### 【 県民のみなさまへ 】

- エムポックスは、感染症法上の四類感染症に位置づけられており、エムポックスウイルスによる急性発疹性疾患です。
- 主にアフリカ大陸に生息するリスなどのげっ歯類が自然宿主とされており、感染した動物に噛まれたり、感染した動物の血液、体液、皮膚病変（発疹部位）との接触による感染が確認されています。主に感染した人や動物の皮膚の病変・体液・血液に触れた場合（性的接触を含む）、患者と近くで対面し、長時間の飛沫にさらされた場合、患者が使用した寝具等に触れた場合等により感染します。
- エムポックスの潜伏期間は7～14日（最大5～21日）とされており、潜伏期間の後、発熱、頭痛、リンパ節腫脹、筋肉痛などの症状が0～5日続き、発熱1～3日後に発疹が出現、発症から2～4週間で治癒するとされています。
- 治療法は、対症療法を中心とりますが、そのほとんどは軽症です。
- 過剰に心配する必要はありませんが、発熱、発疹等の気になる症状がある場合は、かかりつけ医や最寄りの健康福祉事務所（保健所）に相談してください。

記者資料提供（2025年9月16日）

神戸市健康局保健所保健課 南谷・森本

TEL：078-322-6789 FAX：078-322-6763

## エムポックス(クレードI b)患者の発生について

市内医療機関を受診した患者について、神戸市健康科学研究所でウイルス検査を行った結果、2025年9月13日(土曜)にエムポックス(ウイルス型：クレードI b※)と判明しました。この型が国内で検出されたのは初めてです。

エムポックスは、日本国内では2022年7月以降、累計254件の届出があります。(2025年9月12日時点)

※エムポックスウイルスは、大きく2つのグループに分かれており、中央アフリカに常在するウイルスがクレードI、西アフリカに常在するウイルスがクレードIIと呼ばれています。

2023年以降にヒトの間で持続的に伝播して流行を起こした型が、クレードIの中でも特にクレードI bと位置付けられています。

### 1. 患者の概要

- ・性別：女性
- ・年齢：20代
- ・症状：発疹、水疱、発熱、リンパ節腫脹
- ・医療機関受診日：9月12日
- ・海外渡航歴：有(アフリカ)
- ・その他：調査の結果から、アフリカでの感染が推定される。

患者の状態は安定している。

※報道機関各位におかれましては、患者及び患者家族等の個人情報については、プライバシー保護の観点から本人等が特定されることのないよう、格段のご配慮をお願いします。

### 2. 市民の皆様へ

- ・エムポックスは、エムポックスウイルスによる感染症で潜伏期間は7～14日(最大5～21日)とされており、潜伏期間の後、発熱、頭痛、リンパ節の腫れなどの症状が0～5日程度持続し、発熱1～3日後に発疹が出現します。多くの場合は2～4週間ほど症状が続いた後自然に回復しますが、稀に重症化することがあります。
- ・感染した人や動物の皮膚の病変、体液、血液との接触(性的接触を含む)や患者と近距離での対面で長時間飛沫にさらされること、感染している人が使用した寝具等との接触等により感染します。
- ・万一、感染が疑われる症状がある場合は、医療機関に「エムポックスの可能性がある」とご相談ください。医療機関を受診する際は、マスクの着用、発疹部位をガーゼなどで

おおうなどの対策をしてください。

### 3. 参考

- ・神戸市ホームページ

<https://www.city.kobe.lg.jp/a73576/kenko/health/infection/protection/mpox/mpox.html>

- ・厚生労働省ホームページ「エムポックスについて」をご確認ください。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekakkukansenshou19/monkeypox\\_00001.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/kekakkukansenshou19/monkeypox_00001.html)